



(2) 事業区間の構造

ア. 駅部の構造

事業区内の駅は、品川駅及び北品川駅の2駅であり、構造は、表3.2-2及び図3.2-4に示すとおりである。

表 3.2-2 駅部の構造

駅名	構造	構造物幅員	構造物高さ	ホーム長	ホーム幅
品川駅	地平	— ※	— ※	約 221m	約 5m～12m
北品川駅	高架橋	約 23m	約 16m	約 113m	約 2m～ 5m

※品川駅の駅舎については、別事業で施工予定である。

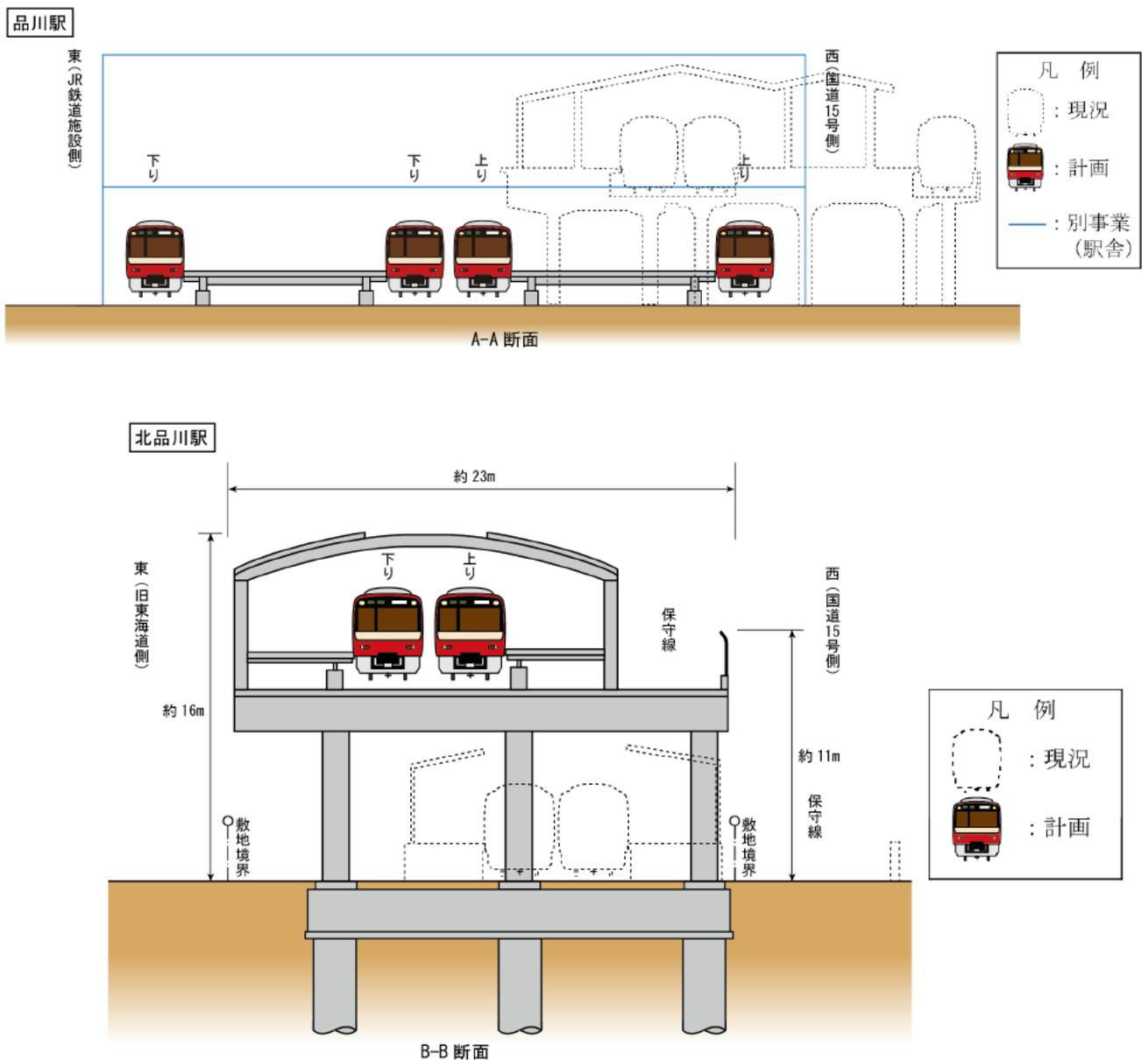


図 3.2-4 駅部標準断面図 (上図：品川駅、下図：北品川駅)

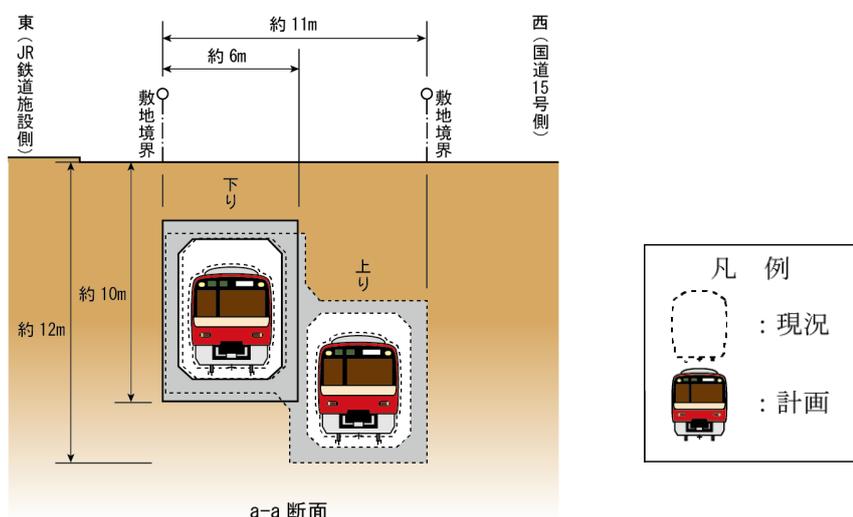
イ. 一般部の構造

事業区間内の一般部の主要構造は、表3.2-3及び図3.2-5(1)から図3.2-5(4)までに示すとおりである。

表 3.2-3 一般部の構造

構造		構造物幅員	構造物高さ・深さ
地下	a-a 断面	約 11m (約 6m)	深さ約 12m (深さ約 10m)
掘割	b-b 断面	約 18m	深さ約 7m
地平	c-c 断面	約 27m	—
高架橋	d-d 断面	約 11m	高さ約 10m
	e-e 断面	約 10m	高さ約 11m

注) 地下構造の括弧書きは改築が伴う下り線の構造物幅員、構造物深さを示している。



注) 上り線は、工事の施行中及び工事の完了後も現在線のまま運行するため、上り線の既設構造物は改築しない。

図 3.2-5(1) 一般部標準断面図 (地下区間)

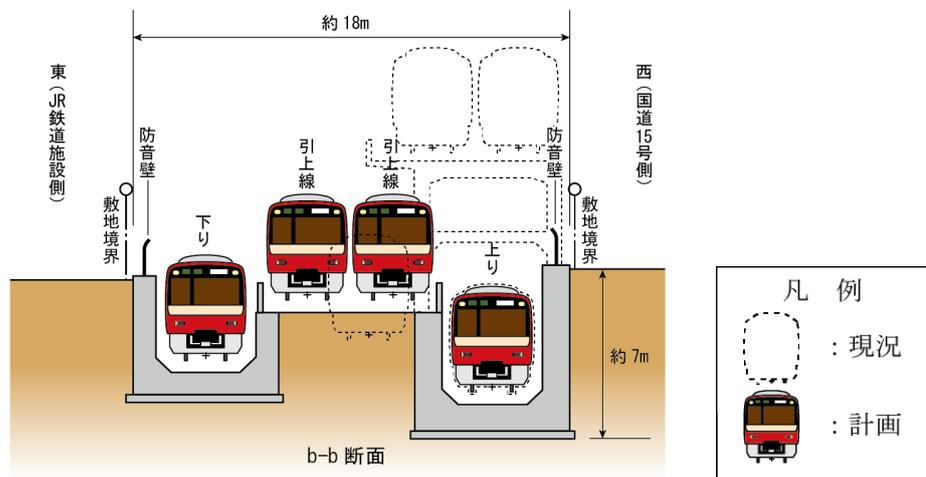


図 3.2-5(2) 一般部標準断面図 (掘割区間)

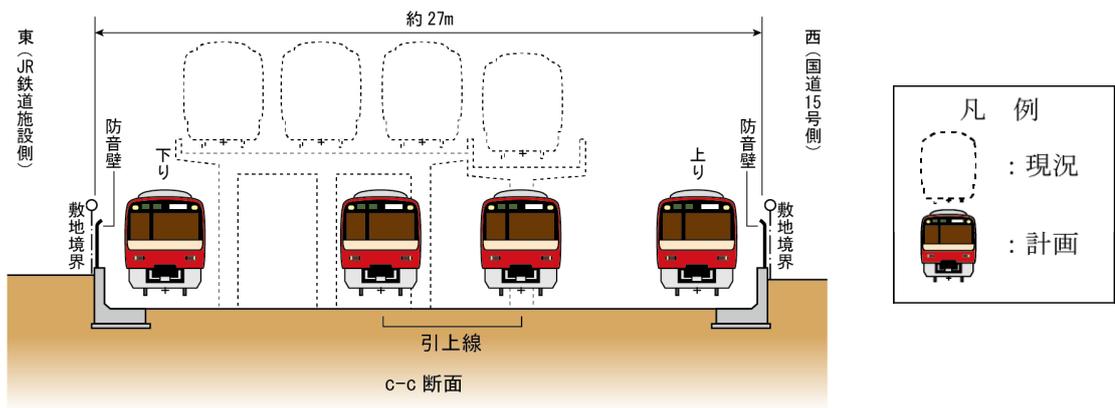


图 3.2-5(3) 一般部標準断面図 (地平区間)

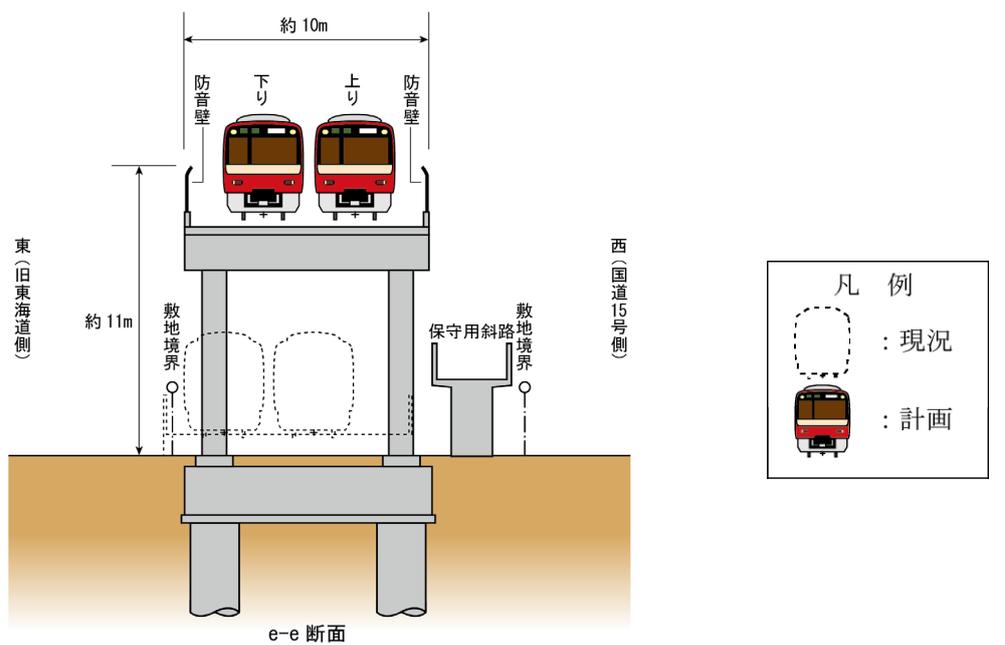
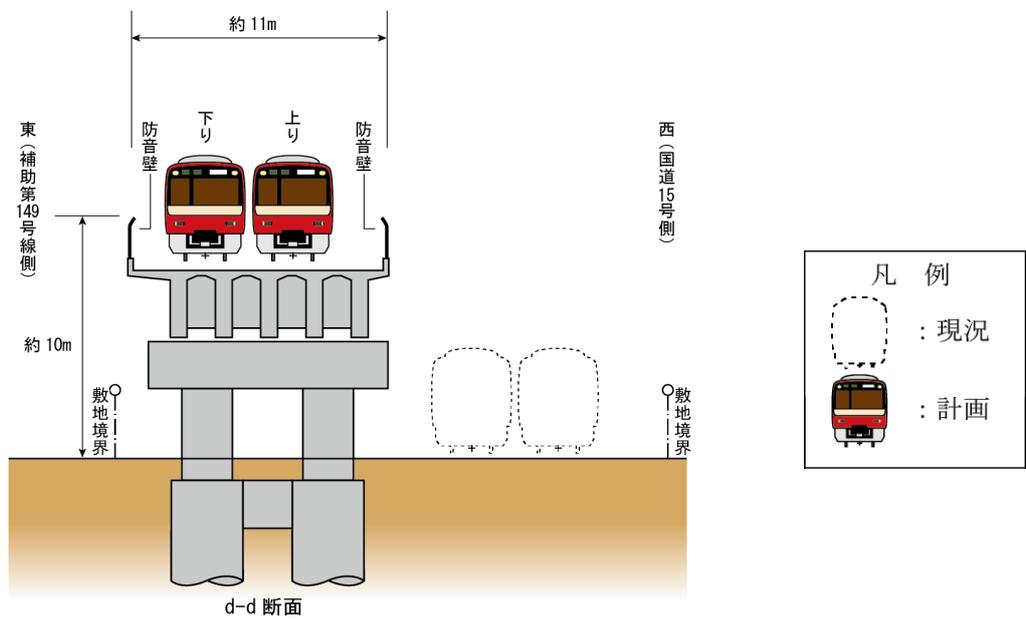


图 3.2-5(4) 一般部標準断面図 (高架橋区間)

ウ. 解消される踏切等

解消される踏切は、表3.2-4に示すとおりであり、高架化により解消される踏切は3か所である。踏切位置については、図3.2-3（5ページ参照）に示すとおりである。

表 3.2-4 解消される踏切名称と幅員

交差道路		踏切			
道路名称 (都市計画道路名)	種別	踏切名称	位置	踏切幅員	車両規制
特別区道 幹線一級4号 (補助第149号線)	区道	品川第一踏切道	品川区北品川一丁目	24.4m	—
特別区道 準幹線30号	区道	品川第二踏切道	品川区北品川一丁目	8.0m	大型車の 通行禁止
特別区道 Ⅲ-1号	区道	北品川第一踏切道	品川区北品川一丁目	7.2m	大型車の 通行禁止